

# 第3章の要点

## 新しい貧困層の様相

- 年齢別
  - ・高齢者・若者の貧困率高い
- 世帯類型別
  - ・母子世帯
    - フルタイムで働けない、低賃金
  - ・高齢単身者：遺族年金
    - 全額は支給されない、無年金者、  
家族間の経済支援の弱まり
  - ・若年層：日本の不景気、非正規労働

## 低所得労働者が意味するもの

- 非正規労働者、特に女性と若者
  - 最賃以下の賃金しか  
受けていない者多い
- ・女性の平均賃金
  - 男性よりかなり低い
- ・パートタイマーの平均賃金
  - フルタイマーよりかなり低い
- ・年功序列賃金

## 富裕層の変容

- 富裕層:企業経営者、医者
  - ・所得や資産を増やしたい
  - ・節税
- 産業の変化・経営者の種類の変化・企業の規模の変化
- 人材配置の偏りの懸念
  - 大企業・大病院において、人材の空洞化

## 地域格差の実態

- 中央と地方、都市と田舎でかなりの経済格差が存在
- 構造改革
  - ・公共事業の削減
    - 地域間格差の是正機能を失う
  - ・商業分野の規制緩和
    - 商店街の衰退

# 奪われる機会の平等

- 機会の平等
  - ・全員参加の原則、非差別の原則
- 教育
  - ・親の所得高い子弟がいい教育を受けることが出来る
    - 階層の固定化の懸念
  - ・教育費の大幅カット
- 職業
  - ・親の職業が子どもの職業水準を決定する
  - ・インセンティブ・デバイド
    - 意欲・希望を持つ層／持てない層に乖離する状況
- 女性
  - ・教育: 本人の能力と意欲で上級学校への進学可能
  - ・就職: かつてよりは平等化したが完全ではない
  - ・昇進: 「統計的差別」で合理化されていた→今も根強く残る